

最近の話題・トピックス

「進行再発大腸癌への抗癌化学療法」

外科 山崎 誠二

大腸癌に対する抗癌化学療法は罹患患者数が多いことから、日本のみでなく欧米において多くの臨床試験が行われている。米国における National Surgical Adjuvant Breast and Bowel Project (NSABP) やヨーロッパでの European Organization for Research and Treatment of Cancer (EORTC) は抗癌剤の臨床治験プロトコルを多数おこなっている。これらの臨床治験は Journal of Clinical Oncology (JCO)、New England Journal of Medicine (NEJM)、Lancet など論文として発表されている。大腸癌に対する抗癌化学療法における最近のトピックスは Irinotecan (CPT-11) と第3の白金製剤である Oxaliplatin (L-OHP) である。従来からの5FU と leucovorin による biochemical modulation における点滴治療 (FL療法) を一つの arm として、CPT-11 (irinotecan) を併用する IFL療法をもう一つの arm とする Salz (NEJM 343:905, 2000) や Douillard (Lancet 355:104, 2000) の phase III の報告から、欧米での 1st line の治療として IFL 療法がその位置を確立し、同時に de Gramont (JCO 18:2938, 2000) による FL 療法と L-OHP を併用する FL-OHP 療法 (FOLFOX4) の比較試験から 2nd line の治療としての FOLFOX4 がその位置を確立した。最近の Goldberg (JCO 22:23, 2004) による両者の比較試験では FOLFOX regimen が奏効期間、奏効率、生存期間ともに IFL 療法より優れているとの報告があり、標準治療としての位置を確立してきている。

これらの経過と関連して日本国内では厚生省が 1st line が FL 療法、2nd line が IFL 療法という国内治験の結果とは別に、欧米の成績を基盤として oxaliplatin (L-OHP) が国内治験をおこなわず

IFL 療法に次ぐ 2nd line として FOLFOX regimen を認め、今年の5月から保険適応となっている。この経過に関してはNHKのテレビ番組で報道されたように癌患者からの要望を厚生省が取り入れる形で保険適応と認めた経過があり、治療プロトコルとして欧米で治療効果が証明されてきた FOLFOX4 あるいは FOLFOX6 を用いることから、全例調査登録が必要である。進行再発大腸癌患者において Oxaliplatin が保険適応となり、FL, IFL, FOLFOX という選択肢が増えることは好ましいことではあるが、治療プロトコルに関しては若干問題を含んでいる。1つは FOLFOX では5FUの持続投与を用いること、2つめは入院治療を要することの2点である。国内治験でのFL療法では5FUのbolus投与が適応をとった経過および入院化学療法による患者のADLの低下や経費の問題は先送りにして、欧米でのデータを優先して FOLFOX の治療を 2nd line の治療法として認めることについては治療者としては少し違和感を禁じ得ない。厚生省担当者の従来のFL療法やIFL療法の見直しの考えがあるのか、あるいは FOLFOX の治療から逆に問題点を浮かび上がらせる方向なのか。疑問を持ちつつ大腸癌の患者に治療法について説明を行っている。

最近の NSABP のトライアルでは抗血管増殖因子抗体 (抗VEGF抗体) と FOLFOX の併用の効果が評価されている。新しい薬剤の開発は新たな治療戦略を産み、治療効果を含めて患者の受ける利益は大きなものであるが、今後の経過によっては治療法の見直しも必要となる可能性は残っている。確かに Irinotecan (CPT-11) の進行大腸癌における効果は実感できるものがあり、欧米のデータのような FOLFOX に対して IFL 療法より効果を期待できるのか不安感と期待感とともに患者と接する毎日である。

図書室利用のご案内

講座図書・コメディカル図書などリストがございますのでいつでもご利用下さい。
利用時間/月～金曜日 午後1～5時まで
ご利用の際は連携室までご連絡下さい。



MRI・CT依頼検査フィルムについて

フィルムに代わりCD-ROMでのお渡しが可能になりました。ご希望の方は、ご予約の際にお申し出ください。

院内研修会等のご案内

●第11回 開放型病床研修会

平成17年8月25日(木) PM 7:30～ 8階 講堂

特別講演 京都府立医科大学 放射線医学教室 教授 西村 恒彦
演題 「最近の画像診断の進歩 一疾患の早期検出をめざして」

●整形外科症例検討会

毎週月・水曜日 PM 5:30～6:30

4階 整形外科カンファレンスルーム

※8月15日(月)は休診日とさせていただきます。



新任医師のご紹介

(本年8月1日より赴任)



整形外科

ヒラカワ ヒサノリ
助手 平川 永徳



診療医のご案内



(平成17年8月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
総合内科		小島	丸山	奥田	井田	武田	加藤(隆)
消化器内科	1 診	井田	廣瀬	小島	加藤(隆)	奥田	横坂 溝井
	2 診	谷口	芋瀬	尾松	横溝	坂井	—
循環器内科	1 診	酢谷	加藤(周)	元廣	加藤(周)	酢谷	丸山
	2 診	元廣	高田	—	辻本	高田	辻本
糖尿病・甲状腺・内分泌科		猿井	武田	武田	猿井	猿井	武田
呼吸器内科	(非常勤)	—	—	若原	—	—	—
外科	1 診	山本	山崎	山本	川部	山崎	山本<隔週> 川部<隔週>
	2 診	佐々木	川部	佐々木	中嶋	中嶋	中嶋<隔週> 佐々木<隔週>
乳腺外科		檉木	檉木	檉木	檉木	檉木	山崎
脳神経外科	1 診	山田	郭	渡會	山田	安藤	郭
	2 診 (10:30~)	安藤	安藤	安藤	郭	山田	渡會
整形外科	初診	日下	植村	福井	山森	植村	植村(1週) 山森(2週) 平川(3週)
	再診 (リハビリ)	平井	平川	藤田	平井	平川・福井 <隔週>	福井(4週) 平川(5週)
	予約診	—	藤田 外傷外科	—	—	大友 整形一般・腫瘍	今泉 脊椎外科 (1・3・5週)
	予約診	山森 整形一般	今泉 脊椎外科	日下 リウマチ 人工関節	植村 リウマチ 脊椎外科	日下 リウマチ 人工関節	塚原 <第2週>
	予約診	福井 整形一般	平井 整形一般	平川 整形一般	塚原 膝・スポーツ整形	今泉 脊椎外科	平井 <第4週>
眼科	(非常勤)	—	大矢	—	内藤	—	大高
泌尿器科	(非常勤)	—	伊藤	土屋	—	江原	—
歯科・口腔外科		村松 本間	村松 本間	村松 本間	村松 本間	村松 本間	村松 本間

【ご案内】

- 診療受付時間は、全科8:00~11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
- 年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。